

活用事例⑥

東京都立青山特別支援学校
長谷川 芙夕

- 活動した学年：小学部5年
- 主障害名：知的障害
- 各教科等名：国語・算数
- アセスメント名：〈S-S法〉段階5-1
- 学習形態：個別学習
- 本の名前：
『ケーキ・ケーキ・ケーキ』

■対象となる児童・生徒の実態

- ・平仮名、片仮名の読み書きができる。
ただし、拗音や促音については誤った読み書きをすることもある。
- ・お菓子やケーキが好きで、画像を見て名称を答えられるものが多い。

■学習のねらい

- ・名前の頭文字や画像の一部分をヒントにして、登場するお菓子の名称を考えて答える。
- ・片仮名を正しく音読する。

■使用した道具・機材

タブレット端末アプリ
「イーリーダー」

■実際の様子について

- ・児童自身がまずこの本に興味をもち、自ら開いた。(タイトルが気になっ

たものと思われる。)

- ・はじめの1、2個は、教員が隣で「何が出てくるかな?」「タ・ル・●?」等と言葉をかけ、登場するお菓子を考えるように促した。
- ・途中からは、促しを受けなくても、児童がお菓子の名前を予想して声に出す様子が見られた。
- ・本の最終ページまで集中して見ていた。



■本に対する情報提供など

- ・クイズ感覚で楽しめる。
- ・文字を見ながら正しい発音を聞き、模倣して発声するという学習ができる。拗音、促音、長音の学習にもなる。

- ・登場する洋菓子にはやや難しいもの（ミルフィーユ、ティラミス等）もあり、ある程度は洋菓子についての知識がないと楽しめないかもしれない。

